
19号 北海道がんセンターたより

平成17年10月発行

独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター

〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3-54 TEL 011-811-9111

☐ ホームページ <http://www.sap-cc.org>

編集発行人: 山下 幸紀



北海道がんセンターの理念

私たちは、国民の健康で幸福な生活のため、最新の知識と医療技術をもとに、良質で信頼ある医療の提供に努め、特に「がん克服」に寄与することを目指します。このため、

- 常に、医療の質と技術の向上を目指します。
- 研究、教育研修を推進し、医療・医学の発展に寄与します。
- 患者さんの権利を尊重し、誠実な医療を実践します。
- 自主自律、創意工夫の精神で病院運営に当たります。

血液内科トピックス



内科医長 相川 啓子

北海道がんセンター血液内科はベッド数49床で、医師4人体制で血液疾患全般をみていますが、当院のがんセンターとしての役割から造血器悪性腫瘍が多数を占めています。悪性リンパ腫、急性白血病、慢性白血病、多発性骨髄腫、骨髄異型性症候群が日常よく見る疾患で、他院、院内各科からの紹介が大多数です。近年の治療の進歩は目覚しく、20世紀末からこれまでにわゆる抗がん剤以外の治療薬が開発され、それまで抗がん剤(化学療法)が中心だった治療現場に画期的な変化をもたらし、これらの薬を組み入れた治療法が現在進行中のも含めて飛躍的に進むと期待されています。

造血器腫瘍の治療は化学療法(造血幹細胞移植も含む)が中心ですが、今から10数年まえ ATRA というビタミン A の誘導体が脳出血で早期死亡の多かった急性前骨髄急性白血病(APL)(急性白血病の一亜型)に驚異的な治療成績をもたらした。その後のがん治療の考え方に多大な影響を与えました。この薬は分化誘導剤といって白血病細胞をいわば大人の細胞へと分化させ、出血し易い状態を改善して寛解へと導き、それに続く化学療法を行うことで今では一番治り易い白血病の一つとなっています。最近発売された薬のトリセノックス(砒素化合物)は ATRA と同じく分化誘導作用がありますが、APL 再発例や ATRA が効かない例にも奏効し、今後期待される薬です。2001年9月に悪性リンパ腫に保険適用となったリツキサンは CD20 に対する抗体ですが、これは B リンパ球表面の性質(抗原)の一つである CD20 という部分に結合してリンパ球を直接、あるいは他の免疫担当細胞と共同してこれを破壊しま

す(抗体療法と言います)。リツキサンは再発、難治性の悪性リンパ腫にもよく効き、現在は従来の化学療法と組み合わせた治療が行われ、治療成績は確実に向上しています。リツキサンに放射性同位元素を結合させ、リツキサンが結合した B 細胞の周りの細胞を放射線の働きで更に広範囲に破壊するという薬の治験も進んでいます。慢性骨髄性白血病(CML)ではほぼ全例で Ph 染色体が陽性ですが、この染色体異常は1962年発見され、ヒト腫瘍で最初に発見された疾患特異的染色体異常です。2001年12月発売されたグリベックは CML の染色体異常(結果的に異常遺伝子が形成される)から作られる異常蛋白が原因の発症の仕組みが分った結果、コンピューターを駆使して理論的に創られ実際の治療で目覚ましい成果を上げている最初の薬です(分子標的療法と言います)。先に述べた APL に対する ATRA も後に、APL の染色体異常から作られる特殊な蛋白に結合して細胞を分化誘導するという分子標的療法であることが分かりました。多発性骨髄腫(MM)の新治療薬のサリドマイドは難治性 MM にも数10%の有効性が報告され、その血管新生抑制作用を利用していわば腫瘍を秤量攻めにします。抗がん剤はがん細胞ばかりでなく正常細胞をも傷害し、血球減少、脱毛、粘膜障害などの副作用を生じます。抗がん剤と違って今まで述べた薬は特定の部位に作用するため、上述のような副作用は少なくなります。各疾患の原因が解明されそれに基づいた最適の薬が作られている時代にあって、治療法のような組み合わせが可能になり治療成績は更に向上するに違いありません。

Contents もくじ *****

血液内科トピックス	内科医長 相川 啓子	1
～ 治験管理センターから公開講座のお知らせ～	治験管理センター 高橋 知宏	2
「第3回 素敵なナース」決定	素敵なナース発見隊 有賀ちよみ	3
診療科別外来担当医師一覧		4

～治験管理センターから公開講座のお知らせ～

※どなたでも参加できます・入場無料・事前申込み不要

治験管理センター 高橋 知宏

最近、新聞広告に大きなスペースで「治験に参加しませんか？」と言うフレーズをよく見かけるようになりました。しかし、治験ってなあに？治験に参加するって人体実験みたいなものかしら？と、よく知らなかったり、ちょっと怖い印象を持たれている方も多いかと思います。「治験」とは新しいお薬の候補を健康な人や患者さまに使用して頂いて、安全で効果がしっかりとあるのか等を検証するための試験をいいます。またこの試験は、医薬品の臨床試験の実施基準（GCP）という法令で定められた基準（ルール）に従って行われています。

当院では治験を多くの皆様に広く知っていただきたく、毎年「治験に関する公開講座」を開催しています。今回で第5回目を迎え、平成17年11月12日

（土）に開催することになりました。毎年、全道各地から約80～100名の方々の参加があり、治験とはどのようなものか、治験に参加すると何か大変な事があるのか等について皆様にご紹介しています。今年度は治験のお話と併せて、これまで参加された方からの意見を基に、がん専門病院として当院が行っている、乳がんや放射線の治療についてご紹介します。がんとの戦いに貢献できるお薬の開発に治験がいかに必要なかを少しでも多くの皆様に知って頂きたいと考えています。患者様のご協力がなければ新しいお薬は誕生しません。新しいお薬の誕生はみんなの願いです。

公開講座へのご参加を心からお待ち申し上げます。

第5回「治験に関する公開講座」

よいお薬をより早く
患者さまのもとへ…
～治験とがん治療～

日時：平成17年11月12日（土）
14:00～16:00

場所：札幌市男女共同参画センター
札幌エルプラザ3Fホール
札幌市北区北8条西3丁目
TEL(011)728-1222(代)

入場無料

どなたでも参加できます！
事前の申し込みは不要です。

1. 治験ってなあに？

北海道がんセンター 治験コーディネーター
高橋 知宏

2. 治験に安心して参加できるために ～被験者保護の立場から～

昭和大学医学部第二薬理学教室客員教授
辻 純一郎

3. 治験とがん治療の実際 ～乳がん治療～

北海道がんセンター 乳腺外科医長
田村 元

4. 治験とがん治療の実際 ～放射線治療～

北海道がんセンター 統括診療部長
西尾 正道

「第3回 素敵なナース」決定

素敵なナース発見隊 有賀 ちよみ

当院看護部では、病院全体の中で素敵なナースをめざそうという活動をおこなっています。6月24日、6月27日、佐藤看護部長（隊長）と「素敵なナース」発見に出動しました。選出は「素敵なナース」発見チェックリストをもとにおこなっています。チェック項目は外見（ヘアスタイル、服装）、内面（人柄、言葉使い、接遇）です。簡単に具体的なチェック内容をご紹介します。

外見として、

＜ヘアスタイルは＞

- ・肩についていない、顔にかかっていない、きちんとまとめている（肩より長い場合は、アップにしている）、ばさばささせていない、汚れていない、髪の色（脱色等極端なヘアカラーでない）

＜服装は＞

- ・白衣はしみが無く清潔である、白衣のボタンはきちんとついている、ネームカバーは綺麗なものを使用している、ナースシューズは汚れていない

内面としては

- ・人柄、言葉使い、接遇については短時間の訪問のため、日頃の様子を各セクションの看護師長、副看護師長にも相談

以上の内容を総合的に判断し選出しています。

前置きが長くなりましたが・・・。

「第3回 素敵なナース」は武藤記代子さん、岡崎美香さんに決定しました。簡単にお二人をご紹介します。

武藤記代さんは、7階呼吸器科病棟勤務です。副看護師長であり、がん性疼痛認定看護師です。疼痛緩和についての相談や助言、がん看護研修など各研修会の講師として活躍中です。いつも穏やかでソフトな口調で話されるところが魅力です。

岡崎美香さんは、4階整形・耳鼻科・形成病棟勤務です。臨床実習指導者として、また、がん看護研修の講師として後輩の育成に活躍中です。いつも笑顔で患者さまに対応しているところが素敵です。

今回も予告なしに出動しましたが、各セクション快く迎えていただき感謝、感謝です。最終的に156名に会えました。ご協力ありがとうございました。発見隊では今後も「素敵なナース」の発掘や、訪問の際に気になった点は各セクションに戻り改善に向け取り組みたいと考えております。今後ともご協力お願いいたします。



武藤 記代子さん



岡崎 美香さん



診療科別外来担当医師一覧



平成17年10月1日
北海道がんセンター

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
消化器科		高橋 康雄 大沼 啓之	大久保俊一 (午前) 藤川 幸司	藤川 幸司 佐藤 康裕	高橋 康雄 (午前) 新谷 直昭	新谷 直昭 (午前) 大久保俊一	
呼吸器科	初診 再診	磯部 宏 須甲 憲明	磯部 宏 福元 伸一	須甲 憲明 原田 眞雄	原田 眞雄 磯部 宏	福元 伸一 原田 眞雄	
血液内科	初診 再診	鈴木左知子 相川 啓子	小川 貴史 小川・黒澤	(隔週交替) 黒澤・鈴木 小川 貴史	鈴木左知子 相川 啓子	(隔週交替) 相川・小川 黒澤 光俊	
循環器科	初診 再診	横山亜由美 藤田 雅章	竹中 孝 鎌田 晋輔	井上 仁喜 横山亜由美	藤田 雅章 竹中 孝	鎌田 晋輔 井上 仁喜	
小児科		飯塚 進	長 祐子 午後慢性疾患外来 (長 祐子)	飯塚 進 第1水曜午後 内分外来(飯塚進)	田中 洋充	長 祐子 午後慢性疾患外来 (飯塚 進)	小児心外 第3金PM
精神科 神経科		休診	休診	休診	休診	休診	
外科		濱田 朋倫	内藤 春彦	濱田 朋倫	近藤 啓史	篠原 敏樹	
乳腺内分泌外科	(午前)	田村 元 舩越 徹	竹原めぐみ 舩越 徹	竹原めぐみ 上徳ひろみ	田村 元 上徳ひろみ	田村 元 舩越・上徳	乳がん検診 毎金PM
呼吸器外科		桑原 博昭 安達 大史		近藤 啓史	近藤 啓史		
整形外科		合田 猛俊 平賀 博明	(予約)	井須 和男 合田 猛俊	平賀 博明 武田真太郎	井須 和男	
皮膚科		加藤 直子 氏家 英之	富田 幸希 夏賀 健	加藤 直子 夏賀 健	富田 幸希 氏家 英之	加藤 直子 富田 幸希	
泌尿器科		永森 聡	柏木 明	三浪 圭太	永森 聡	柏木 明	
産婦人科		金内 優典 半田 康	山下 幸紀 青野 亜美	加藤 秀則 齋藤 裕司	半田 康 青野 亜美	齋藤 裕司 山下 幸紀	
眼科		網野 泰文 唐 尚子	網野 泰文 唐 尚子	網野 泰文 唐 尚子	網野 泰文 唐 尚子	網野 泰文 唐 尚子	
耳鼻咽喉科		永橋 立望 中村 成弘	永橋 立望 中村 成弘	永橋 立望 中村 成弘 田中 克彦	永橋 立望 中村 成弘	永橋 立望 中村 成弘	
放射線科		明神美弥子 西山 典明 岩波 悦勝 (予約)(10:00~)	西尾 正道 長谷川雅一	明神美弥子 市村 亘(予約)	西尾 正道	西山 典明 長谷川雅一	
麻酔科				(入院対応)			
脳神経外科		伊林 至洋	池田 潤	池田 潤	古明地孝宏	伊林 至洋	
心臓血管外科			明神 一宏 石橋 義光		明神 一宏 石橋 義光		
形成外科		皆川 英彦 舟山 恵美 (13:30~16:00)	皆川 英彦 舟山 恵美 (13:30~16:00)			皆川 英彦 舟山 恵美 (8:30~11:00)	

※受付時間は、平日午前8時30分から午前11時までです。(土曜日・日曜日・祝日は休診です。)

※都合により代診となる場合がありますのでご了承願います。

第24回

北海道がん講演会

日時 平成17年11月23日(水)
午後1時30分~午後4時

場所 札幌プリンスホテル 国際館パミール
6階「大雪日高」
札幌市中央区南2条西11丁目

●北海道がんセンターの医師による講演

がん治療のパラダイムシフト

1 『低侵襲外科治療の進歩と今後』

呼吸器外科医長 近藤 啓史

2 『オーダーメイド治療に向けたがん薬物療法への進歩』

呼吸器科医長 磯部 宏

3 『IT技術を活用した放射線治療の展開』

統括診療部長 西尾 正道